

滋賀教区 第25回 平和へのつどい

「原発問題を考える」

～なぜ原発映画を撮ったのか～



放射能に美しいふるさとを奪われた、あの日。
家族の幸福も、踏み碎かれた...

朝日のあたる家

The House of Rising Sun

太田隆文監督作品

キャスト



並樹史郎



斉藤とも子



平沢いずみ



橋本わかな



いしだ竜成



山本太郎

開催日時

7月3日(水) 13時～16時10分

※受付(入場) 12:30～

会場

栗東芸術文化会館さきら 大ホール

住所 滋賀県栗東市糺2丁目1番28号

電話 077-551-1455

参加費

無料

申込方法

郵送・電話・FAX・E-mailにて申込

申込先

滋賀教区教務所 〒523-0883 近江八幡市北元町39-1

TEL:0748(33)4256 / FAX:0748(36)7457 / E-mail: shiga@hongwanji.cc

組・寺院で団体でご参加の場合は人数だけお知らせください。

お名前			
組名		寺院名	

講師 太田隆文氏 (監督・脚本・プロデューサー)

1961年生まれ。奈良教区平群組誓興寺住職の太田信隆の長子。南カルフォルニア大学・映画科に学ぶ。2004年、大林宣彦監督の映画『理由』のメイキングを担当。2006年、故郷・和歌山県田辺市を舞台に青春ファンタジー映画『ストロベリーフィールズ』を監督。カンヌ映画祭でも上映。和歌山県から「きのくに芸術新人賞」を受賞。2010年、浜松市を舞台にした『青い青い空』を監督。地元では2万人を動員し、その年1番の大ヒット。ロサンゼルス映画祭でも上映。いずれも原作のないオリジナル脚本を自ら執筆。地方の美しい自然が描かれた作品で、「親子に伝わる大切なこと」がテーマ。「毎回、涙が止まらない爽やかな感動作を作る」と多くの映画ファンから注目されている。



日	程	12:30	受付
		13:00	開会式 ○挨拶
		13:10	映画上映 ○朝日のあたる家
		15:10	休憩
		15:20	講演 ○なぜ原発映画を撮ったのか ○太田隆文監督
		16:05	閉会式 ○挨拶

映画「朝日のあたる家」(118分)
 <ストーリー> 静岡県、湖西市。自然に囲まれた美しい町。そこに住む平田一家は4人家族。いちご農園を営む父、専業主婦の母。そして10代の娘2人の家族だ。ある日の大地震。原子力発電所で爆発。避難勧告が出る。平田一家は町外れの体育館に避難。「明日には帰れる」と聞いていたが、何か月も帰れない。やがて、父は仕事を失い、母はノイローゼ、ようやく許された一時帰宅も3時間の制限つき。荷物を取ってくることにしか許可されない。福島と同じ事態だ。そして、妹が病気になり、鼻血が止まらなくなる。平田一家は大きな悲しみの渦に巻き込まれて行く……。

交通・駐車場案内

お車でお越しの場合
 高速道路：名神高速道路
 「栗東IC」より約3km

電車でお越しの場合
 JR琵琶湖線：JR琵琶湖線「栗東駅」
 (大阪から約60分、京都から約25分)
 栗東駅東口より約400m(徒歩5分)



主催 浄土真宗本願寺派 (総合研究所) 開催 滋賀教区教務所